

# TUBASA KAGE

翼のような自由な休憩スペース

## K 構想 U

羽ばたく翼が連なるような4つの建築群がやさしい陰を生み、様々な休憩や駐輪のスペースを生みだします。

### 自然

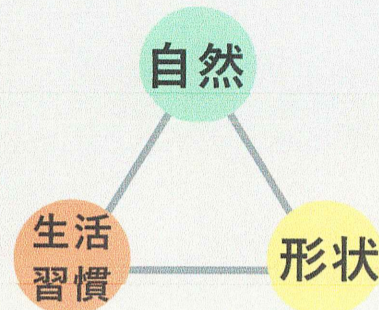
独特な形状のデザインは自然界形をイメージしています。

### 形状

自由にランダムな空間で構成されています。

### 生活習慣

自由な空間が多目的な利用を生み出します。



### 材料

使いやすい、取りやすい材料を決めました。

ケヤキ材をベースに建築を構成します。

ケヤキ (樺)

個人空間のガラスは合わせガラスにし、表面に熱線吸収シートを貼り付けました。

合わせガラス

自転車を置く所と木材を支える所でステンレス鋼を使って強度を耐久性に考慮しました。

ステンレス鋼 (黒色)

## K 計画 KU

### 問題

1. 休憩スペースと日陰のスペースがあまりない現状があります。
2. 子どもたちの遊ぶの場所は、敷地からはなれています。
3. 現状の植栽は、日光を遮る効果があまり期待できません。
4. 大人のレジャースペースと子供の遊び場は連動していません。

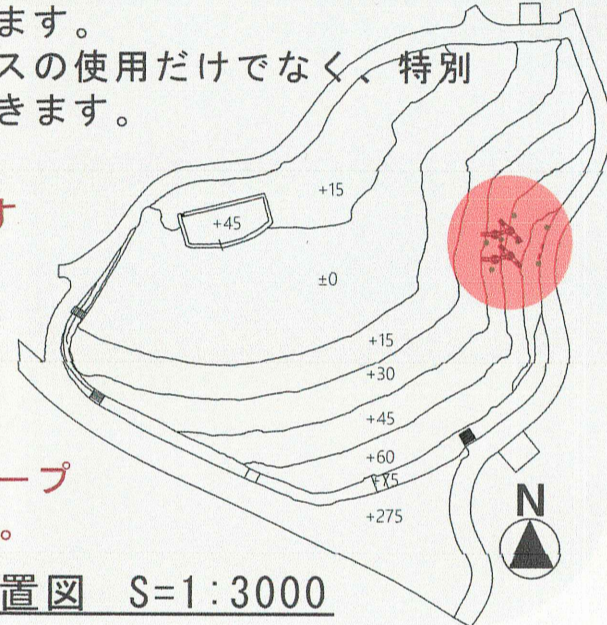
### 改善点

1. 敷地内の植樹は休憩スペースと組み合わせで設計することで再利用できます。
2. 休憩スペースと自転車スペースが組み合わせて一緒に設計しています。
3. 通常の休憩スペースの使用だけでなく、特別イベントにも利用できます。

赤い図形が囲まれた場所は、建物を設計する場所です。

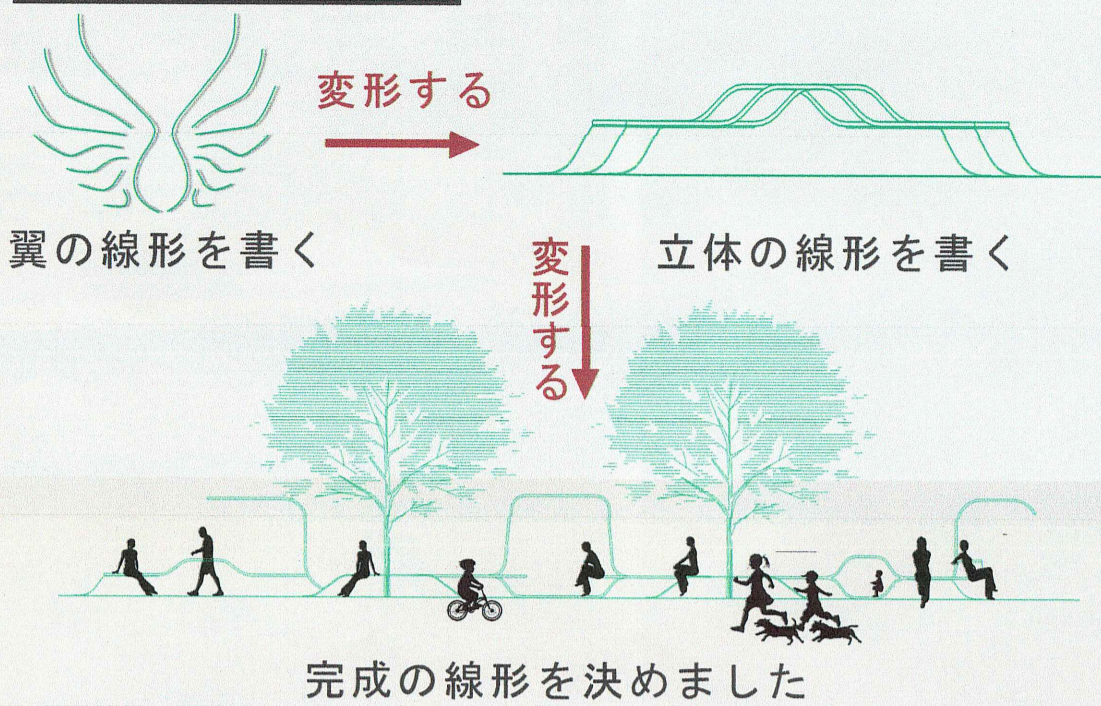
設計建物の2つのグループがあって設計建物のセットの総面積は40.3㎡です。

設計建物の2つのグループの総面積は80.6㎡です。

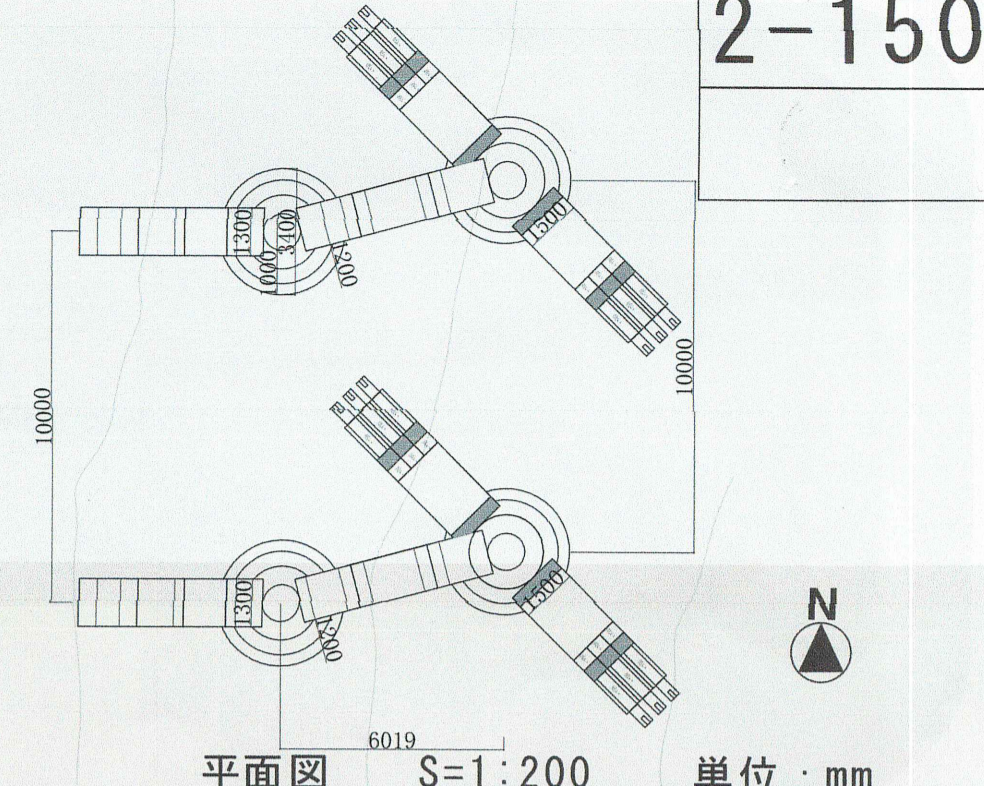


配置図 S=1:3000

## ダイアグラム

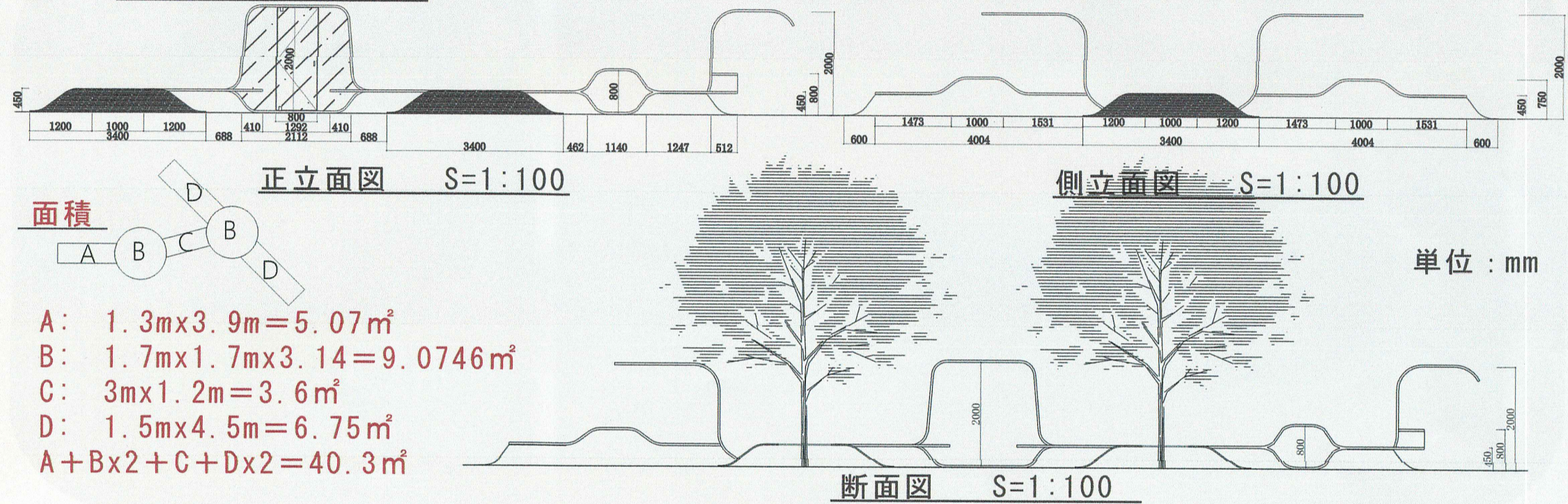


完成の線形を決めました



平面図 S=1:200 単位: mm

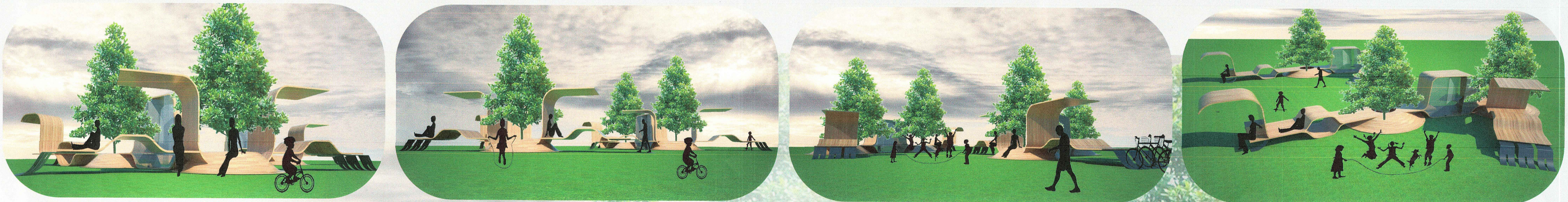
## プロファイル



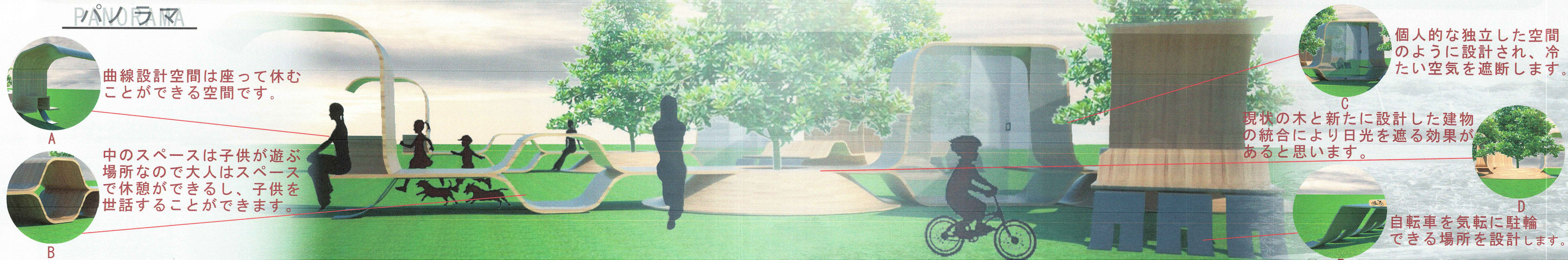
### 面積

- A:  $1.3\text{m} \times 3.9\text{m} = 5.07\text{m}^2$
- B:  $1.7\text{m} \times 1.7\text{m} \times 3.14 = 9.0746\text{m}^2$
- C:  $3\text{m} \times 1.2\text{m} = 3.6\text{m}^2$
- D:  $1.5\text{m} \times 4.5\text{m} = 6.75\text{m}^2$
- $A + B \times 2 + C + D \times 2 = 40.3\text{m}^2$

## T 透視図



## PANO RARA



A 曲線設計空間は座って休むことができる空間です。

B 中のスペースは子供が遊ぶ場所なので大人はスペースで休憩ができるし、子供を世話することができます。

C 個人的な独立した空間のように設計され、冷たい空気を遮断します。

D 現状の木と新たに設計した建物の統合により日光を遮る効果があると思います。

E 自転車を気軽に駐輪できる場所を設計します。